

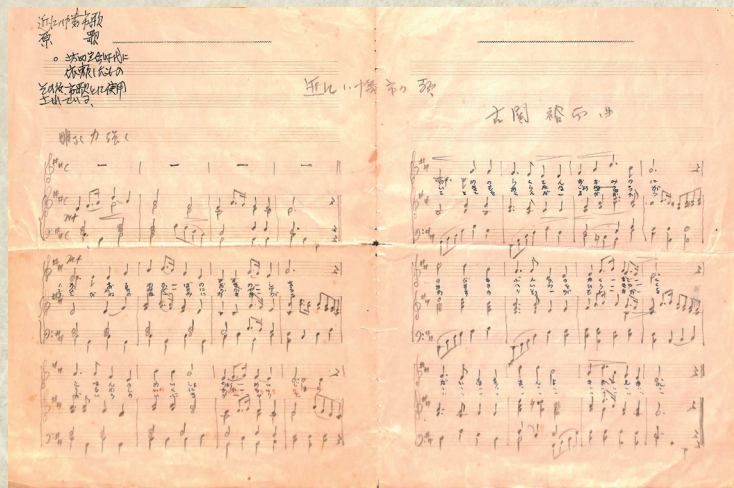
ふるさと再発見

第16回

Re:discovery Omihachiman

近江八幡と古関裕而氏

古関裕而氏は昭和を代表する作曲家の一人です。もし、古関氏の名前は知らなくても、作曲された歌は、耳にしたり口ずさんでいる人も多いはず。代表的な曲として「どんがり帽子」や「長崎の鐘」、「六甲おろし」、夏の甲子園大会歌「栄冠は君に輝く」、「モスラの歌」などがあります。また全国小・中・高校の校歌も、数多く作曲されました。ちなみに滋賀県内では彦根東高校の校歌も彼の作曲によるものです。生涯約5千曲を作曲した古関氏は、3月30日から放送されている朝の連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルでもあります。



古関裕而氏直筆の旧近江八幡市歌の楽譜

さて、古関氏は近江八幡市とも深いゆかりをもっています。昭和33年に制定された旧近江八幡市の市歌は、彼の作曲によるものです。歌詞は公募され、作曲は古関氏に依頼しました。同年8月には、発表会が大々的に開催されました。古関氏直筆の楽譜は、本市で大切に保存されています。

また古関氏は、作曲の際には Hammondオルガンという楽器を愛用されました。1934年にアメリカで発明されたこの楽器は、W・M・ヴォーリズが起こした近江兄弟社によって日本に輸入されました。このことが縁で、古関氏は近江兄弟社学園で演奏会も開いています。

なお、古関氏は明治42年福島市にある呉服商の息子として生まれましたが、その数軒隣には、八幡商人の一人で現



旧近江八幡市歌の発表会

在も同地で醤油醸造業を営んでいる内池三十郎家がありました。もし、両家に交流があれば、古関氏は生まれた時から近江八幡ゆかりの人物ということになります。

近江八幡図書館で ゆかりの資料を展示

古関氏直筆の市歌の楽譜やレコードなどを三角コーナーで展示しています。ぜひお越しください。
展示期間 4月21日(火)まで

🚨 新型コロナウイルス関連の情報は、市ホームページをご覧ください

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、催しが急に中止になることがあります。開催するかどうかは事前に担当課または主催者へご確認ください。

同ウイルスに関する市からの最新情報は、市ホームページで随時発信していますので、ご覧ください。

👤人口と世帯 令和2年3月1日現在
()は前月比

総数 82,066 人(-4)
男 40,327 人(-21)
女 41,739 人(+17)
世帯 33,941 世帯(+7)

※外国人住民(41 国籍・地域/1,522 人)を含みます。